

ロボット王国の落日と「勝ち筋」

問題：ロボット王国の落日

2000年

約59%

圧倒的首位

日本は、かつて「ロボット王国」として世界の約6割を占めた。

2024年

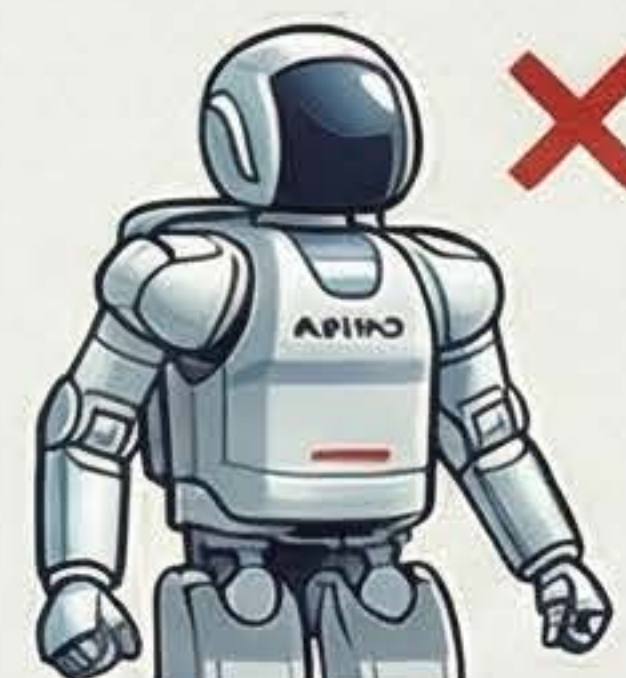
約8%

4位転落

現在は米・中に次ぐ4位に転落。

発明シェア、59%から8%へ急落

技術至上主義の限界



高機能な「ASIMO」は商業化に失敗



用途を統った「ルンバ」が市場を創造

米国の安定 vs 中国の爆発的成長



解決策：日本の「勝ち筋」

「身体」や「脳」ではなく、「脊髄」で勝つ



日本の強みである制御技術をミドルウェアとして提供し、世界標準を握る。

日本を世界最大の「AI実験場」に



質の高い「現場 (Genba)」を特区として開放し、世界中の開発データを集める。



目指すは「インテル・インサイド」モデル

どの国のロボットも、日本の安全制御技術なしでは動けない未来を構築する。